

腹をたてていたのが消えてしまった

放課後、僕は職員室の前まで行った。

職員会議がある様子だったので、
英語文法の科目担当の尾形先生に
尋ねるのは、今度にした。
尾形先生の意見を聞きたかった。

三時五十三分のバスに乗って 帰宅。

途中、バスの中でも、まだ、僕は、
「ちきしょう、英語がうまく話せたらなあ。」
と、くやしくて、腹を立てていた。

中二の京太に 七時すぎ迄、
英語を 教えてやり、
その後、古文の予習をして、
風呂に入り、
英文解釈をした。

部屋に戻り、教育とは何ぞやとか、
教育者とはどうあるべきもの等、
勉強していても、今日の学校での事で、
むしゃくしゃしていた。

ふと、昔のことを思い出していた。
京太のことだ。

京太も、本当は、
兄貴や僕と一緒に中学に行きたかった。